

# 平成27年度 自己評価書

学校名	和歌山市立三田小学校
校長氏名	黒田 昌孝
作成日	平成28年 2月12日

## 1 教育目標

主体的・創造的な子どもを育てる。
------------------

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャーを招くとともに、地域の教育資源を活かした学習を積極的に進める。</li> <li>○学校行事やPTA行事を捉え、保護者や地域に学校開放を呼びかける。特に学校開放週間に重点的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝のあいさつ等に力を入れ、人と積極的に関わり合える子どもを育成する。</li> <li>○ルールやマナーなどの規範意識の育成をめざす。また、他者を思いやる心の育成にも努める。</li> <li>○環境美化、植物の栽培、生き物の飼育に積極的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識及び技能の定着をはかる。</li> <li>○「書くこと」を学習の中に位置づけ、関わり合う力、表現する力を伸ばす授業づくりをする。</li> </ul>

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りを毎月発行し、行事のようす等についてもお知らせした。</li> <li>・運動会やPTA行事には、保護者だけでなく地域の方々にも参加いただけた。</li> <li>・今年も5年生が地域の方の田んぼをお借りして、稲作を行った。籾蒔きから収穫、しめ縄作りまで、地域の方々の協力を得て実施することができた。餅つき大会にも、地域の多くの方々にお手伝いいただき、保護者、地域の方々の参加で大盛況であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り隊の方々も積極的に子どもたちに話しかけていただけた。また、校長も登校時に正門前で挨拶を行った。</li> <li>・校庭には花を絶やさず、多くの学年で野菜作りも行い調理実習を行った。</li> <li>・本年度は9月の学習参観において道徳の授業を中心とした人権学習を全学年で行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学では「視写」を行い、午後からの基礎学では算数の計算等の復習を行い、基礎、基本の定着を行ってきた。</li> <li>・子どもたちに表現力をつけるために、校内研究授業では、1時間の授業のなかに「書くこと」を取り入れ、自分の考えが書け、それが発表等の表現につながるようにと取り組んできた。</li> </ul>
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や育友会行事(子ども祭り、餅つき大会等)には多くの方々に参加していただけた。また、子ども祭りには出店を、餅つき大会では指導をと地域の方々の協力が不可欠であった。</li> <li>・学校開放週間には、子どもたちの作品だけでなく地域の方々の作品も多数出品いただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声をかけられることにより、ずいぶん多くの子が挨拶を返せるようになったり、積極的に自分から挨拶できるようになってきた。</li> <li>・1年生と鶴亀会の交流は、昔遊びを教えてもらったり、一緒に給食を食べたりしたことで、やさしさに触れることができた。とともに相手の思いを知ったりする貴重な交流となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学の「視写」に関しては子どもたちに文字や文章に慣れさせることができたとともに、静かに1時間目の学習に入ることもできた。</li> <li>・研究授業では「書くこと」を取り入れた学習を行い協議してきたが、いかに普段の授業の中に取り入れていくかということが大切であると考えている。</li> </ul>
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々に授業のなかでさらに関わっていただけるようにしたい。</li> <li>・地域の方々に、機会をとらえてさらなる情報発信を行っていききたい。</li> <li>・参観日にはたくさんの保護者の方々に来ていただけたが、学校開放週間には来校していただけた保護者が少なかった。より多くの方々に来ていただけるような働きかけを行っていききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳や特別活動をはじめ、あらゆる活動のなかで、一層の規範意識や自尊感情の育成を図っていく。</li> <li>・授業のなかで、子どもたちの心に響く人との出会い(ゲストティーチャー招聘)を今後も行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的、基本的な知識技能の習得は今後とも継続指導を行う。</li> <li>・言語面での表現がさらに育成できるように現職教育での在り方を探る。</li> </ul>

## 4 その他の課題

--